

# 米国の大学院における看護教育プログラム — シアトル大学の場合 —

田中 芳文・恒松徳五郎

## Master of Science in Nursing Course Programs in the United States of America: Seattle University

Yoshifumi TANAKA and Tokugoro TSUNEMATSU

### 概 要

シアトル大学(米国ワシントン州)の看護学部の大学院レベルでの看護教育の理念, 目的, 内容などについて概観し, 今後の本学の教育課程編成の参考とした。

**キーワード:** シアトル大学看護学部, 地域保健臨床ナース・スペシャリスト, 家族  
プライマリ・ケア・ナース・プラクティショナー

### I. 米国の大学院レベルでの 看護教育の重要性

米国における看護の担い手は, 今後ますます登録ナース(registered nurse)からナース・プラクティショナー(nurse practitioner)のような“advanced practice” nurses へ移行していくものと考えられおり, 例えば, ピッツバーグ大学(University of Pittsburgh)のEllen Rudy 看護学部長らが推し進める動きは, “a nationwide shift away from the R.N. and into nurse practitionership”と表現されている。このような動きを反映して, 米国では1997年秋の看護学部の修士課程の入学者数は1.6%増加し, また, 1992年から1995年の間に, ナース・プラクティショナーになるためのプログラム, つまり大学院レベルの看護教育プログラムを提供する大学の数が119から202に

増加した。<sup>1)</sup>

複雑で絶えず変化する今日の保健医療(health care)環境の中で, 健康を向上させ疾病を予防するためにナースに要求されることは, 進歩した実践技術を持つことである。大学院における看護教育は, そのようなナースに対して, 臨床で見られる事象に対する知識を深め, 古いジレンマについての新しい視点を発展させ, 保健医療システムにおける新しい役割を獲得する機会を提供するものである, とシアトル大学の看護学部では考えられている。そこで, 本稿では, シアトル大学の大学院レベルでの看護教育プログラムを調査した結果を報告し, 本学の今後の教育課程編成の参考としたい。

### II. シアトル大学大学院の看護教育に 対する基本的な考え方

シアトル大学の看護学部の理念・目的・目標

についてはすでに報告した。<sup>2)</sup>ここでは大学院レベルでの考え方を概観する。

シアトル大学の大学院コースの看護教員スタッフは、知的好奇心や自主性を育んで、人々の多様な考え方や価値観を検討できるような学術的環境を創ることに専念する。

シアトル大学の看護学修士課程は、教育、奉仕、価値観に対する教育、人間の成長についてのイエズス会の理想に基づいている。大学院課程の教員スタッフは博士号を有し、豊富な臨床経験を持つナースであり、熟達した教師でもある。カリキュラムは脆弱な(vulnerable)人々のケアに焦点を当て、イエズス会の奉仕への義務を実現するものである。価値観に基づく教育(values-based education)は看護ケアの倫理的、道徳的、並びに精神的側面を強調するものである。個々の学生の持つ力量とニーズに注目することが、知識と技術を備え、変化を引き起こす能力に自信を持った卒業生を送り出すことにつながっている。

専攻分野は働いている専門職としてのナースのために用意されたものである。授業や教員のスケジュールは学生のために特に柔軟かつ便利なものである。例えば、授業は平日の昼間、金曜日の夜間、及び土曜日に開講されている。

具体的なプログラムの特徴には次の5点があげられる。

1. 国家資格試験のための学問的基礎と技能を与える。
2. 脆弱な人々のヘルスケア(保健医療)に焦点を当てる。
3. 平日、週末、及び夜間に授業を開講する。
4. 成人学習者のために教育課程を企画する。
5. 臨床学習は理論と調査研究の応用を可能にする。

### Ⅲ. 教育課程の目的(objectives)

1. より進んだ看護を実践するために、看護学の知識と関連する学問領域とを統合する。

2. 問題解決の方略(strategy)とクリティカル・シンキングを用いてケアを提供し、クライアントのグループが健康状態の変化を管理し、処理するか、あるいはより高い健康レベル状態に到達することを可能にする。
3. より進んだ看護実践を行って、それが持つ重要な価値を人々に具体的に示す。
4. 個々の看護職者の成長と職業実践を促すために、個人の信条、価値観、認識方法を評価する。
5. 脆弱な人々のため、保健医療に影響する医療保健制度や政策を分析する。
6. 質の良いケアを確実にするために、クライアント、健康専門職者、地域機関との協力関係においてより進んだ看護実践の役割を実行する。
7. 学識、指導力、良質な看護の提供を通して、脆弱な人々の健康を増進する。

### Ⅳ. 授与する学位

1. 看護学修士号(Master of Science in Nursing, MSN) [以下 MSN とする]  
次の2つの専攻がある。
  - (1) 地域保健臨床ナース・スペシャリスト  
(Community Health Clinical Nurse Specialist, CHCNS) [以下 CHCNS とする]
  - (2) 家族プライマリー・ケア・ナース・プラクティショナー  
(Family Primary Care Nurse Practitioner, FPCNP) [以下 FPCNP とする]
2. [別の専攻の]看護学修士号所持者のための  
家族プライマリー・ケア・ナース・プラクティショナー資格  
(Post-Master's Certificate in Family Primary Care Nurse Practitioner) [以下 PMCFPCNP とする]

## V. 入学資格

### 1. シアトル大学の大学院共通の入学要件

- (1) 願書と入学料(50ドル)。
- (2) 在学したすべての単科大学や総合大学からの正式な成績証明書。
- (3) 取得した学士号(必要な場合はそれ以上の学位)を証明するもの。
- (4) 大学院のプログラム必要条件の中で特定されている標準試験。
- (5) それぞれの分野の大学院のプログラムで要求される他の書類や資格。

### 2. 看護学部大学院入学資格

#### (1) MSN 志願者

- 1) 全米看護連盟 (National League for Nursing, NLN) [以下 NLN とする]が認定する教育課程から得た看護学の学士号。
- 2) 適切な看護経験を示す履歴書。2年の臨床経験があることが望ましい。
- 3) MSN プログラムとその中の特定の専攻 (CHCNS, FPCNP など)を選択した理由と共に、専門職者として、また個人としての目的を記述したもの。
- 4) 大学院教員スタッフとの面接に合格すること。
- 5) 過去5年以内に受けた、大学院進学希望者を対象にした試験 (Graduate Record Examination, GRE)の結果。
- 6) 志願者の臨床及び学術的能力に言及した推薦状2通。
- 7) 学部における成績評価点平均 (grade point average, GPA)が最低3.0であること。3.0未満の場合でも他の優れた業績があれば選考対象となる。

必ずしもすべての条件を満たしていない場合でも個別に選考されることがある。

さらに、次の学部教育のコースでCまたはそれ以上の成績であること。

健康評価コース(5単位)

研究コース(過去10年以内に取得した最低2から3単位)

コンピューターを応用した記述的、推測統計学を含む基礎統計学(過去10年以内に取得した最低2から3単位)

他に適切な執筆能力が求められる。

#### (2) PMCFPCNP 志願者

- 1) NLN 認定の教育課程で得た看護学の修士号。
- 2) 関連した看護経験を示す履歴書。
- 3) 大学院教員の面接に合格すること。
- 4) 専門職者として、個人としての目的とこのコースを選択した理由を記述したもの。
- 5) 志願者の臨床及び学術的能力に言及した推薦状2通。
- 6) 健康評価のコースでCまたはそれ以上の成績であること。

## VI. 教育課程の概要

### 1. 地域保健臨床ナース・スペシャリスト (CHCNS)専攻

米国における臨床ナース・スペシャリスト (clinical nurse specialist)は、一般的には看護学の特定の専攻分野における高度な知識、技術、能力を持つ臨床家 (clinician)であり、具体的には特定の専攻分野での看護学修士号を持つ者である。nurse specialist と呼ばれる。<sup>3)</sup>

CHCNS 専攻では、地域の脆弱な人々に対する統合されたケアに焦点を当てて臨床ナース・スペシャリストとしての専門職のナースを養成する。この専攻では、脆弱な人々のグループに対してケアを提供し、地域保健看護、保健教育、健康増進、調査研究、プログラム開発、健康相談などの知識を普及させる者を育てることによって、地域社会の健康を増進させることを意図している。教育課程の科目の他にも、学生個人のニーズに応じた地域の場面で臨床経験を積みこ

とも含まれている。

このプログラムでは49から53単位を取得しなければならない(他の認定教育機関における既修得単位の認定が最大10単位までは可能である)。開講科目名と単位数は次のようになっている。

専門基礎科目(Graduate Nursing Program  
Foundation Courses)

NURS 501 健康評価と健康増進上級	4 単位
NURS 502 脆弱な人々の看護ケア	3 単位
NURS 504 看護の概念と理論	3 単位
NURS 510 看護実践における倫理観	3 単位
NURS 512 看護における保健政策	3 単位
NURS 514 看護における調査研究	3 単位
NURS 595 修士論文	6 単位
または	
NURS 599 学術プロジェクト	3 単位
合計	22から25単位

専門科目

NURS 503 健康変化に対する人間の反応	3 単位
NURS 505 脆弱な人々の中での看護介入	3 単位
NURS 507 地域保健演習上級 I	3 単位
NURS 508 地域保健看護の基礎	3 単位
NURS 509 臨床ナース・スペシャリスト の役割と機能	3 単位
NURS 516 看護リーダーシップと管理の 原理	3 単位
NURS 517 ヘルスケアシステムにおける 管理分析	3 単位
NURS 519 地域保健演習上級 II	4 単位
選択科目	2 から 3 単位
合計	27から28単位

専門基礎科目と専門科目との合計 49から53単位

2. 家族プライマリー・ケア・ナース・プラクティショナー(FPCNP)専攻

米国におけるナース・プラクティショナー(nurse practitioner)は、一般的には、看護学の修士課程のプログラムで高等教育を受け看護

の特定の分野で臨床経験を積んだナースのことである。<sup>4)</sup>

FPCNP 専攻では、個人や家族に直接的なプライマリーケアを提供するナース・プラクティショナーとしての専門職のナースを養成する。疾病予防、健康の増進と維持、身体的及び心理社会的評価、健康と疾病の管理における独自で協力的な意思決定のできる人材を養成する。脆弱な人々に対するプライマリーケアの場面でのナース・プラクティショナーの役割を身につける機会を与えるものである。

2年間のプログラムで62から65単位を修得し600時間の臨床経験を積む。パートタイムでの受講も可能で、この場合は3年間のプログラムである。すでに別の専攻で看護学の修士号を持っている者は、2年間で44単位を修得するコース(PMCFPCNP コース)もある。授業は平日だけでなく、夜間や週末に開講されるものもある。開講科目名と単位数は次の通りである。

専門基礎科目(Graduate Nursing Program  
Foundation Courses)

NURS 501 健康評価と健康増進上級	4 単位
NURS 502 脆弱な人々の看護ケア	3 単位
NURS 504 看護の概念と理論	3 単位
NURS 510 看護実践における倫理観	3 単位
NURS 512 看護における保健政策	3 単位
NURS 514 看護における調査研究	3 単位
NURS 595 修士論文	6 単位
または	
NURS 599 学術プロジェクト	3 単位
合計	22から25単位

専門科目

NURS 520 人間の一生における家族形態 と健康増進	3 単位
NURS 521 プライマリーケアの心理社会的側面	2 単位
NURS 522 薬理学的応用	3 単位
NURS 523 家族における子どものケア	2 単位
NURS 524 病理生理学上級	3 単位

NURS 525 家族プライマリーケア管理と 実習 I	6 単位
NURS 526 家族プライマリーケア管理と 実習 II	5 単位
NURS 527 家族プライマリーケア管理と 実習 III	6 単位
NURS 528 看護実践での専門職者の役割 上級	2 単位
NURS 529 家族プライマリーケア IV—統合 実習	8 単位
合計	40 単位
専門基礎科目と専門科目との合計	62 から 65 単位

[注]

Seattle University と島根県立看護短期大学は、1998年7月1日付で「学術交流協定」を締結し、(1)教員の交流、(2)共同の研究、講義、シンポジウム、学生教育、(3)データ、文書など研究資料の交換、(4)学生の交流、などを行うことについて合意した (Appendix 2 を参照)。

引用文献

- 1) Shute, Nancy: A Surge in Graduate Programs for Nurses, U.S. News & World Report, 124 (8), 89, 1998.
- 2) 田中芳文・恒松徳五郎: 米国の看護教育プログラム—シアトル大学看護学部の場合—, 島根県立看護短期大学紀要, 3, 87-97, 1998.
- 3) O'Toole, Marie T.(ed.): Miller-Keane Encyclopedia and Dictionary of Medicine, Nursing, and Allied Health. Sixth edition. Philadelphia: W.B. Saunders Company, 1997.
- 4) Anderson, Kenneth N.(ed.): Mosby's Medical, Nursing, and Allied Health Dictionary. Fifth edition. St. Louis: Mosby-Year Book, 1998.

Appendix 1 : 開講科目英文タイトル

NURS 501 Advanced Health Assessment and Health Promotion
NURS 502 Nursing Care of Vulnerable Populations

NURS 504 Concepts and Theories in Nursing
NURS 510 Ethical Considerations in Nursing Practice
NURS 512 Health Policy in Nursing
NURS 514 Research in Nursing
NURS 595 Thesis
NURS 599 Scholarly Project
NURS 503 Human Responses to Health Alterations
NURS 505 Nursing Interventions among Vulnerable Populations
NURS 507 Advanced Practice in Community Health I
NURS 508 Foundations of Community Health Nursing
NURS 509 Roles and Functions of the Clinical Nurse Specialist
NURS 516 Principles of Nursing Leadership and Management
NURS 517 Management Analysis in Health Care System
NURS 519 Advanced Practice in Community Health II
Elective (may be taken any quarter)
NURS 520 Family Patterns and Health Promotion Across the Life Span
NURS 521 Psychosocial Aspects of Primary Care
NURS 522 Pharmacological Applications
NURS 523 Well Child Care in the Family
NURS 524 Advanced Pathophysiology
NURS 525 Family Primary Care Management & Practicum I
NURS 526 Family Primary Care Management & Practicum II
NURS 527 Family Primary Care Management & Practicum III
NURS 528 Advanced Practice Professional Role
NURS 529 Family Primary Care IV—Integrated Practicum

Appendix 2 : シアトル大学看護学部と本学との学術交流協定締結を伝える記事



*Emerita professor DeGracia on campus with Shimane Nursing College Students*

## SCHOOL HOSTS Japanese Nursing Students, Signs Exchange Agreement with Nursing College

**F**or the second year in a row, the School of Nursing hosted a group of 23 nursing students and two faculty members from Shimane Nursing College in Japan. From July 22 to July 28, the students and faculty stayed on the SU campus in Campion Hall and attended a variety of lectures and tours arranged by the school. Many of the Shimane visitors had never been to the United States before this trip, so the school had an interpreter on hand during the visit.

Emerita professor of nursing Rose DeGracia coordinated the trip, which she considers “the first step in fostering an exchange relationship between the School of Nursing and Shimane Nursing College.” Another aim of the trip, said DeGracia, was “to show the Shimane nursing students first hand the differences between Japan and the United States in terms of health care delivery and nursing education.”

During their week-long stay in Seattle, the Shimane students and faculty attended several lectures and discussions on nursing education and health care in the

United States. They also made several field trips to Seattle-area medical centers, clinics, and nursing homes. The stay was not all work, however, as the visitors took a whole-day train ride and tour of Mount St. Helens.

This spring SU President Steve Sundborg, S.J. and the president of Shimane Nursing College, Tokugoro Tsunematsu, signed a letter of intent to promote academic exchange between the School of Nursing and Shimane Nursing College. The purpose of the exchange agreement between the two schools is to further cooperation in both nursing education and academic research. In the future, this may include: exchange of scholars and researchers; coordination of lectures, symposia, student training, and co-curricular activities; and exchange of students. Various options are currently being explored by the two schools to facilitate further exchanges between the students and faculty, including e-mail, web site information, and teleconferencing capabilities.

*Nursing News : The Seattle University School of Nursing Newsletter (Fall 1998), p. 5 より*